

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	川内バスターミナルEV設備等整備計画												
計画の期間	令和05年度 ~ 令和05年度 (1年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	東温市												
計画の目標	本市では、山間バス路線の利用者数の減少傾向が続いており、現状のままでは公共交通ネットワークの維持が難しくなるものと予想されている。このことから、新たな公共交通ネットワークの再構築を図るため、本市の山間バス路線の重要な交通結節点である川内バスターミナル（伊予鉄バス（株））の利便性の向上を図る必要がある。よって、川内バスターミナルにEVバスの充電設備を整備することで更なるEVバスの導入を促し、環境負荷の低減に取組むとともに、パーク&ライドやサイクル&ライド、デジタル表示機や待合環境等の整備を行うことで、地域における公共交通の持続可能性、利便性、効率性の向上を図り、地域公共交通の維持活性化に取組む。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	28	A	28	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	川内線の利用者数 事業者による計測	R5.10		R6.3
2	事業収支率 事業者により川内線の収支率（運賃収入 - 経費）を算出	-26246千円	千円	-23093千円

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R05	R06	R07	R08	R09				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
地域公共交通再構築 事業	A17-001	地域交通	一般	東温市	間接	伊予鉄バス 株式会社	-	-	川内バスターミナルEV設 備等整備事業	川内線に導入されるEVバス用 の充電器・変電器の設置、P& R、C&R、バスロケーションシ ステム表示機及び待合室等の 整備	東温市						28	1.3	-	
												小計						28		
										合計							28			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
東温市都市整備課において評価を実施した。	交付期間の最終年度中
	公表の方法
	ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	待合環境やパークアンドライドの整備等により、バスターミナルとしての利便性が向上し、川内線の利用者数増加に繋がった。EVバスの充電設備を整備し、経費を抑えたEVバスの効率的な運行が可能となり、事業収支の改善に繋がった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
今後も充電設備を利用してEVバスの運行を継続し、更なる利用者の増加、事業収支の改善を図る。利用者数や収支の状況を把握し、地域の公共交通の維持・活性化を図る。	

案件番号：

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	川内線の利用者数	
	最終目標値	310977人
	最終実績値	333594人
2	事業収支率	
	最終目標値	-23093千円
	最終実績値	-1745千円